

令和5年第2回鹿角市議会定例会 代表質問

□質問順位及び質問所要時間

3月 7日 (火) 午前10時～

- | | | | | |
|---|------|----|--------|-------|
| 1 | 田村富男 | 議員 | 鹿真会・公明 | (60分) |
| 2 | 倉岡誠 | 議員 | 誠心会 | (60分) |
| 3 | 黒澤一夫 | 議員 | 鹿山会 | (60分) |

□質問時間割当表

10:00		11:00	11:10	12:10	13:00	14:00
3月7日 (火)	田村富男 (60分)		休憩 10 分間	倉岡 誠 (60分)	休 憩	黒澤一夫 (60分)

令和5年第2回鹿角市議会定例会代表質問

No.1

順位	1	会派名	鹿真会・公明	代表質問者	田村 富男	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨			
1	市長の公約の進捗状況について (1) 公約の見える化について (2) 5つの公約の進捗状況について			<p>① 公約を総合計画に落とし込み、進捗状況の見える化を図ってはいかがかと考えるが、市長の考えを伺う。</p> <p>① 透明で活力のある市政において、「いつでも市長室」や「地域づくりミーティング」などを通じて、市民の声はどのように反映されているか。また、女性と若者の声を反映した事例があったか、併せて伺う。</p> <p>② 北東北経済圏の確立において、今現在の達成度はどのような状況か。また、実現のための取り組みは実施計画に十分に追加されているか。さらに、県・他県・国とのパイプは強固になっているか伺う。</p> <p>③ 医療・福祉の充実において、あくまで分娩機能の再開を目指すのか、それとも妊婦の健診体制の維持や地域の診療科目の拡充を新たな目標とするのか伺う。</p> <p>④ 若者教育・男女共同参画において、高等教育機関の誘致を今後どのように進めていくのか。また、男女共同参画社会に向けた「提案と検証の場」をどのように設けていくのか伺う。</p> <p>⑤ 品格と風格のある街づくりについて、現在の進捗状況をどう考えるか。また、「品格と風格のある街づくり」の到達点について、何らかの指標により定量的に市民に示すことのできる目標はあるのか伺う。</p>			
2	まちなか居住について			<p>① 第7次総合計画前期基本計画実施計画（R4-R6）にある「安全安心住まいづくり事業費補助金（まちなか居住促進）」の支援内容について伺う。</p> <p>② 高齢者世帯等が冬期間まちなかに移り住むことができる住宅の整備など、コンパクトなまちづくりをさらに進める考えはないか伺う。</p>			

令和5年第2回鹿角市議会定例会代表質問

No.2

順位	1	会派名	鹿真会・公明	代表質問者	田村 富男	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨			
3		毛馬内盆踊りの保存伝承について		<p>① 世界無形文化遺産としての活用を図るためにも保存伝承が重要となるが、市としての支援についてどう考えているか伺う。</p> <p>② 地元から盆踊り会館の整備について声が上がっているが、商店街の空き家などを活用して整備する考えはないか伺う。</p>			
4		十和田小学校の水害対策について（現在地からの移転について）		<p>① 現在地においては浸水害のおそれがあるが、学校における避難訓練などの防災対策はどのように行われているか伺う。</p> <p>② 高校統合後に、現在の十和田高校に十和田小学校を移転させる考えはないか伺う。</p>			
5		市施設における喫煙室の整備について		<p>① 受動喫煙対策を取ることが物理的に可能な公共施設への喫煙場所の設置を再考する考えはないか伺う。</p>			

令和 5 年 第 2 回 鹿 角 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問

No.1

順位	2	会派名	誠心会	代表質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨			
1		第 7 次 鹿 角 市 総 合 計 画 前 期 基 本 計 画 の 進 捗 状 況 に つ い て		<p>① 第 7 次 鹿 角 市 総 合 計 画 の 基 本 構 想 に 掲 げ た 将 来 都 市 像 「 ふ る さ と を 誇 り 未 来 を 拓 く ま ち 鹿 角 」 を 実 現 す る た め 、 暮 ら し を 守 る 5 つ の 基 本 戦 略 と 都 市 経 営 の 視 点 で 攻 め る 3 つ の 経 営 戦 略 に 沿 っ た 32 の 取 組 方 針 に つ い て 、 そ の 進 捗 状 況 を 伺 う。</p> <p>また、総合計画の着実な推進について、第 7 次総合計画前期基本計画は、おおむね順調に進められてきているものと推察するが、今後の取り組みは社会情勢の変化や将来人口の推移なども含め、検討の必要性が生まれると考える。</p> <p>取り組みの継承すべき点、改善すべき点等について、それぞれ実施計画（R4-R6）に掲げた 32 の 取 組 方 針 に つ い て 、 概 要 に 沿 っ て 個 々 に 伺 う。</p>			

令和5年第2回鹿角市議会定例会代表質問

No.1

順位	3	会派名	鹿山会	代表質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨			
1		健全財政による市政運営について		<p>① 安定的で健全な財政運営により、市民サービスの向上と地域経済の活性化を促していかなければならないと考えることから、次の点について伺う。</p> <p>(ア) 歳入増加となるよう、どのような取り組みを行っているか伺う。</p> <p>(イ) 道路、橋梁等の補修については、年次計画で進めているが、どのくらいの工事費が見込まれるか伺う。</p> <p>(ウ) 統合により使用しなくなった学校等の建物の売却等の取り組みについて伺う。</p>			
2		J R 花輪線の早期全線開通と観光産業について		<p>① 突然の自然災害の恐ろしさに改めて気づかされた。J R 花輪線について、昨年8月の大雨被害から8か月が経った。早期全線開通のため、どのような取り組みを進めているか伺う。</p> <p>② J R 線を活用した広域観光への取り組みが必要であると考え。八幡平市をはじめ近隣市町村と一体となって観光素材を育て、誘客の取り組みを進めるべきと考えるが、このことについて伺う。</p> <p>③ 市の観光の宣伝看板が少ない。大湯ストーンサークルをはじめ、もっと観光案内看板や桃太郎旗等を設置すべきと考えるが、対応について伺う。</p>			
3		各種選挙における投票率の向上対策について		<p>① 「市民の声がより多く反映された選挙」となるよう方策を講じてほしいと考えるが、どのように取り組みを進めているか伺う。</p> <p>② 投票所が6か所に減少したことで「投票に行けない」「以前の方がよかった」という声もある。投票所を増やしてはいかかと思うが、このことについて伺う。</p> <p>③ 「投票する」「投票した」ことがよりよい政治へとつながるとの意識の啓発活動は、日頃どのように行っているものか伺う。</p>			

令和5年第2回鹿角市議会定例会代表質問

No.2

順位	3	会派名	鹿山会	代表質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨			
4		農林業の振興について		<p>① 農業を取り巻く環境は、今日、農業資材や飼料、電気料金、燃料費等の著しい高騰で経営が圧迫され、営農を続けるためには大変厳しい状況にある。市としても様々な支援を行うべきと考えることから、次の点について伺う。</p> <p>(ア) 北限の桃、鹿角りんご、夏秋野菜等の畑作農業に対して、地力増進、良品生産のため、資材や経費の支援を行うべきと考えるが、このことについて伺う。</p> <p>(イ) 畜産、鹿角短角牛の生産振興で、繁殖母牛の飼養頭数は幾らとなっているのか。また、枝肉100頭の出荷を目標とすれば、通年で素牛の導入が必須となる。この取り組みはどのように行っているか伺う。</p> <p>(ウ) 昨年5月に行った鹿角市稲作経営支援金、10アール当たり2,000円を令和5年度は5,000円に増額しておいしい鹿角の米の生産進行を持続的に行うべきと考えるがいかがか。</p> <p>(エ) 林業振興で、市内林地について通年でどのくらいの面積が伐採されているものか。また、再造林について、どのくらいの面積、本数となっているものか伺う。併せて、CO2削減対策について、きれいな空気を守り、つくることに取り組みを強めるべきと考えるが、このことについて伺う。</p>			
5		企業誘致、働く場の確保対策と市内医療環境充実への取り組みについて		<p>① 市長の政治公約である、次の点について伺う。</p> <p>(ア) 企業誘致、働く場の確保、元気のあるまちづくりについて、これまでどのような取り組みを行い、成果を上げているものか伺う。</p> <p>(イ) 安心して暮らせるまちづくりのため、地域医療の充実、かづの厚生病院の医師数の確保について、どのような成果となっているものか。また、今後はどのような診療科目での体制充実に取り組んでいくものか伺う。</p> <p>(ウ) 企業立地促進条例の成果として、この制度の利用企業、雇用の拡大はどのくらいの増加となっているものか。また、鹿角産業団地の用地は、売却と貸付けにより全て埋まったが、その後工場等の建設は行われていない。いつごろ新規会社が営業を始める見通しとなっているか伺う。</p>			

令和 5 年 第 2 回 鹿 角 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問

No.3

順位	3	会派名	鹿山会	代表質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨			
6		小学校・中学校入学時の児童生徒への学費支援交付金制度の制定について	① 小学校 6 年、中学校 3 年、この 9 年間の義務教育期間中に多大な費用がかかる。特に小学校入学時はランドセル、通学服やズック。中学校入学時は学生服、セーラー服、体育時の体操着、ズック等たくさんの学用品を準備しなければならず、大変な負担となる。新たに市の学費支援交付金制度を制定して、教育支援をしてほしいと思うが、このことについて伺う。				